



名古屋大学
医学部附属病院



名古屋医療情報学プログラム
(Nagoya Clinical Informatics Program/NCIP)

名古屋医療情報学プログラム (Nagoya Clinical Informatics Program/NCIP)について

名古屋大学医学部附属病院
メディカルITセンター

2026.3.23



名古屋大学
医学部附属病院

NCIP代表 白鳥義宗先生ご挨拶





名古屋大学
医学部附属病院



「名古屋医療情報学プログラム」って？ Nagoya Clinical Informatics Program/NCIP

「NCIP」って？

なに？

Q & A

名古屋医療情報学プログラム NCIP とは
働きながら または 家庭や家業と並行して、
場所や時間を選ばず スマホやPCモバイルを使って
自分軸で自由に学べるオンデマンド講義です。



医療 × ITの最前線を 今話題の医療DXを
医療情報の基礎から応用まで 実用的知識やスキルを
業界トップクラスのプロフェッショナル達から学ぶ!

自分自身のアップデートのチャンス 今つかみませんか!





このような？に関する内容をご説明いたします。

1. どんな人達が受講するの？ 対象条件は？
2. NCIPコース案内
3. リスキリングコース(企業・団体支援割引)ってなに？
4. 医療情報学ってなにを学ぶの？
5. どんなカリキュラム？ 講師って誰なの？



このような？に関する内容をご説明いたします。

6. 講義受講の進め方は？
7. 修了認定は？
8. 修了したらいいことあるの？メリットは？
9. BP認定？ 教育訓練給付制度って？
10. Q&A
11. スケジュール

どんな人達が受講するの？ 対象条件は？

主な受講対象者

- 大学を卒業した方
- 専門学校卒業者など大学卒業と同等の資格を持たない方
- 医療分野に関わる業務に従事する方
- 医療分野に従事する見込みの方

想定されるプロフィール

- 医療従事者(医師、看護師、薬剤師など)
- 医療情報部門の担当者
- 医療関連企業の従業員
- 行政機関の医療担当者

医療事務・管理、医療情報・システム関連、営業・マーケティング、研究開発、教育、医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師等様々な背景の方が受講しています。

名古屋医療情報学プログラム(NCIP)コース案内

名古屋医療情報学プログラム(NCIP)は、多様化する受講ニーズに柔軟に対応するため、複数の受講コースをご用意しています。あなたの目的や経歴に合わせて最適なコースをお選びください。



コース概要比較

コース名	対象	受講料 (※登録料別)	特徴
リカレント教育コース (履修証明プログラム)	大学卒業資格または 同等の資格を持つ方 (注1)	250,000円	文部科学省認定の履修証明書発行 教育訓練給付金対象(20%還付) ^(注2) 全カリキュラム受講可能
医療技術者スキルアップ コース	専門学校卒業生など 大学卒業と同等の資格 を持たない方 ^(注1)	200,000円	NCIP独自の修了認定証発行 学歴資格等を問わず受講可能
継続学習支援コース	過去にNCIP履修証明 プログラムを修了した方	125,000円	NCIP独自の修了認定証発行 最新情報へのアップデート
リスキリングコース (企業・団体支援割引)	企業・団体として ご支援いただける場合	1,000,000円 (最大10名まで)	最大10名までを1グループとして割引 ^(注3) 企業・団体として窓口を決めて一括手続き 1グループ内で3つのコース(リカレント教育・医 療技術者スキルアップ・継続学習支援)を各個人毎に選択可能

※すべてのコースに別途、登録料10,000円/1名が必要です。 ※受講申し込み期間終了後、請求書を送付します。所定の期日までに指定口座へお振込みください。

(注1) 大学卒業同等資格とは、「高度専門士」等、文部科学大臣の認める認定資格に基づく資格を指します。 ご不明な場合は 別途NCIP事務局へご相談ください。

(注2) 履修証明プログラムの受講生は、履修修了後に一般教育訓練給付の申請を行うことができます。給付金対象のため受講費用の20%(本プログラムにおいては 5万円)が給付金支給されます。

(注3) 企業・団体の受講申込において、受講人数が10名を上回る場合、または少人数の場合は、別途NCIP事務局へご相談ください。 最適な受講料金プランをご案内いたします。

コース機能比較表

機能・特徴	リカレント教育コース (履修証明プログラム)	医療技術者 スキルアップコース	継続学習支援コース	リスキリングコース (企業・団体支援割引)
履修証明書発行	✓	×	×	△ 選択コースに準ずる
NCIP独自の修了認定証	✓	✓	✓	✓
オンデマンド講義受講	✓	✓	✓	✓
双方向授業参加	✓	✓	✓	✓
教育訓練給付金対象 (20%還付) (注1)	✓	×	×	△ 選択コースに準ずる
オープンバッジ使用可能	✓	×	×	△ 選択コースに準ずる
大学卒業同等資格 不要 (注2)	×	✓	×	△ 選択コースに準ずる
リピート受講割引	×	×	✓ 50%割引	△ 選択コースに準ずる
グループ割引	×	×	×	✓ 最大10名(注3)

凡例：✓ 可能 × 不可 △ 条件付き = 選択コースに準ずる…企業・団体でおまとめ申込み時の各個人ごとの選択コースにより適応条件が変わります。

(注1) 履修証明プログラムの受講生は、履修修了後に一般教育訓練給付の申請を行うことができます。給付金対象のため受講費用の20%(本プログラムにおいては 5万円)が給付金支給されます。

(注2) 大学卒業同等資格とは、「高度専門士」等、文部科学大臣の認める認定資格に基づく資格を指します。ご不明な場合は 別途NCIP事務局へご相談ください。

(注3) 企業・団体の受講申込において、受講人数が10名を上回る場合、または少人数の場合は、別途NCIP事務局へご相談ください。最適な受講料金プランをご案内いたします。

リスクリングコース(企業・団体支援割引)ってなに?

リスクリングコースの特徴

- 企業が複数の社員を一括して申し込む方式
- 社員のリスクリングの一環として活用可能
- 企業の人材育成計画に組み込みやすい

企業のメリット

- 医療IT人材の体系的な育成
- 医療現場の理解促進
- 共通言語・知識の獲得
- 複数名申込による調整可能

企業担当者の声

「医療従事者とシステム関係者の橋渡しができる人材育成を期待」
「医療DX推進に必要な知識を体系的に習得の期待」

医療情報学ってなにを学ぶの？

なぜ今、医療情報学なのか

- 医療DXの加速: デジタル技術による医療変革
- 医療安全の確保: 情報セキュリティの重要性増大
- 業務効率化: 医療現場の負担軽減
- 地域医療連携: 情報共有による医療提供体制の強化

データを理解する

医療情報倫理・個人情報保護、医療情報セキュリティ、医療データ標準化と品質管理、臨床検査データ、診療録記載と標準規格、医薬品と医療情報

データを活用する

臨床研究と治験、RWDの利活用、医療ビッグデータとその解析、医療の標準化・最適化、製薬企業におけるDX

医療×ITの最前線を学び、実践的知識とスキルを習得することで、現代医療の課題解決に貢献できる人材を育成します。

どんなカリキュラム? 講師って誰なの?

カリキュラム構成

- 体系的に医療情報学を学べる構成
- 各科目ごとに概論、実践
- 特論、双方向授業の講義も
- 40本以上の講義

主な科目カテゴリー

- 安全に取り扱うための知識
- データの内容についての知識
- システムについての知識
- 利活用の知識・方法
- 運用のための基礎知識
- これからの医療情報など

約50名の日本を代表する医療情報学の専門家が講師を担当

(2025年度実績)

- 森田 朗先生(東京大学名誉教授)
- 楠岡 英雄先生(国立病院機構 名誉理事長)
- 黒田 知宏先生(京都大学医学部附属病院教授)
- 小笠原 克彦先生(北海道大学大学院保健科学研究院教授)
- 横井 英人先生(香川大学医学部附属病院 医療情報部長)
- 武田 理宏先生(大阪大学大学院医学系研究科教授)
- 勝尾 信一先生(つくし野病院 名誉院長)
- 山本 康仁先生(東京都立広尾病院 情報統括センターセンター長)
- 折井 孝男先生(医薬品情報標準化推進協議会)
- 白鳥 義宗先生(名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター長)

その他、第一線で活躍する実務家・研究者

医療DXって？

医療DXとは

医療のデジタルトランスフォーメーション(DX)とは、デジタル技術を活用して医療のあり方を変革し、医療の質向上と効率化を実現すること

医療DXの主要要素

- 電子カルテの高度活用
- データに基づく医療の実践
- AIの医療応用
- 遠隔医療の推進
- 医療IoTの活用など

NCIPでの学び(DX関連講義例)

- 医療ビッグデータとその解析
- RWDの利活用
- 医療の標準化・最適化
- 特論:デジタル・トランスフォーメーション
- 特論:医療のIT化と未来医療

医療DXは受講生が最も関心を持った領域のひとつです。
受講者アンケートでは「これからの医療情報(DX、未来医療など)」に対する関心が最も高く、「どのような人材として活躍したいか」の回答でも「医療DXの推進」が上位に挙げられています。

NCIPでは、医療DXについて、最前線で活躍する専門家から包括的に学ぶことができます。

講義受講の進め方は？

オンデマンド講義 ※一部双方向授業、リアル授業あり(後日配信)

受講期間:2026年7月1日

~2027年1月31日

(講義視聴は3月31日まで予定)

受講時間の目安

1講義:約90分

修了要件:60時間以上(40コマ以上)

週2-3コマで約5-6ヶ月

講義に関する質問

- Google Classroomのコメント機能で質問可能
- 事務局がとりまとめて講師に転送
- 返答はClassroom内で共有
- FAQ形式で他の受講生とも共有

交流機会の提供

- オンライン双方向授業の実施(一部講義)
- リアル講義および交流会の計画(名大病院での講義および第46回医療情報学連合大会(11月札幌)併せて実施)

質問やディスカッションの機会も確保しながら、柔軟な学習環境を提供します。

単位認定条件

- 履修完了時間が60時間以上(履修完了40コマ以上)
- 理解度テスト完了 (一部講義でレポートあり)
2025年度実績では3講義
- 動画中のキーワード

名古屋大学の教授会にて単位認定審査します

修了したらいいことあるの？メリットは？

履修証明書

- 文部科学省の履修証明制度に基づく証明書
- 学校教育法に基づく正式な証明
- 名古屋大学の教授会で修了認定

キャリア上のメリット

- 知識・スキルの向上
- 医療情報学の体系的な知識習得
- 第一線の専門家から学ぶ最新動向
- 実践的スキルの獲得
- 複合的な視点の養成

デジタル修了証(オープンバッジ)

- 獲得したスキルや知識を可視化
- 偽造や改ざんが不可能で信頼性が高い
- SNSや履歴書等で活用可能

医療情報人材として市場価値を高め、キャリアの幅を広げることができます。

デジタル修了証(オープンバッジ)



● オープンバッジについて

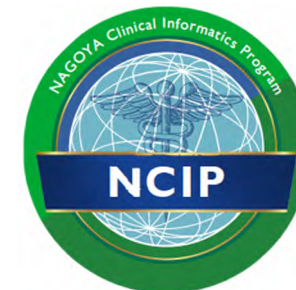
知識・スキル・経験のデジタル証明としてオープンバッジが大きく注目を集めています。

欧米を中心に大学や資格認定団体、グローバルIT企業が多くのオープンバッジを発行しており、日本でもさまざまな団体からの発行が始まりました。

国際標準規格としてのオープンバッジは、取得した資格や学習内容を日に見える形にし、受検者や受講者を増やすデジタルマーケティングツールにもなります。

当財団は、日本ならびにアジア地域において、誰もが安心して便利に利用できるようブロックチェーンを組み込んだオープンバッジの発行環境をクラウドサービスとして提供し、普及と質保証を行っています。

一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク
<https://www.openbadge.or.jp/about-ob/>



紙の証明書とは異なり、改ざんや偽造が不可能で信頼性が高く、バッジ画像に埋め込まれた「メタデータ」で内容を証明。

発行されたオープンバッジを自分専用の「オープンバッジウォレット」で受けとり、集め、一元管理。

X(Twitter)やFacebook、LinkedinなどSNSで公開、メール署名や履歴書に貼り自身の知識やスキル、強みをアピール。

BP認定？ 教育訓練給付制度って？

BP(職業実践力育成プログラム)認定

文部科学省が、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として認定する制度です。

※NCIPは2025年度BP認定されました

ポイント

- 社会人の学び直す選択肢の可視化
- 大学等のプログラムの質保証
- 企業等の理解増進

教育訓練給付制度

厚生労働省が、働く人の主体的な能力開発を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする制度です。

※NCIPは2025年度教育訓練給付制度指定されました

給付内容

- 受講費用の20%(上限10万円)が支給
- 一定の条件を満たす方が対象
- 修了後に手続き可能

BP(職業実践力育成プログラム)認定

文部科学省
職業実践力育成プログラム(BP)認定



文部科学大臣認定

Brush up Program
for professional

Brush up Program BP
for professional

職業実践力育成プログラム

教育再生実行会議「学び続ける」社会, 全員参加型社会, 地方創生を実現する教育の在り方について(第六次提言) (平成27年3月)を受けて, 大学・大学院・短期大学・高等専門学校におけるプログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として, 大学等における社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定することとしました。

これにより、

1. 社会人の学び直す選択肢の可視化、
2. 大学等におけるプログラムの魅力向上、
3. 企業等の理解増進を図り、厚生労働省の教育訓練給付制度とも連携し、社会人の学び直しを推進します。

文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定制度について
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm

教育訓練給付制度

厚生労働省 教育訓練給付制度指定

受講者や企業に対し、受講料等の一部が支給されます

職業実践力育成プログラム（BP）のうち、大学等が厚生労働省の教育訓練給付の講座指定を希望し、その指定基準を満たすとして厚生労働大臣の指定を受けたものについては、以下の制度を利用することができます。

（BPに認定されている全ての課程が教育訓練給付の対象講座ではありません。）

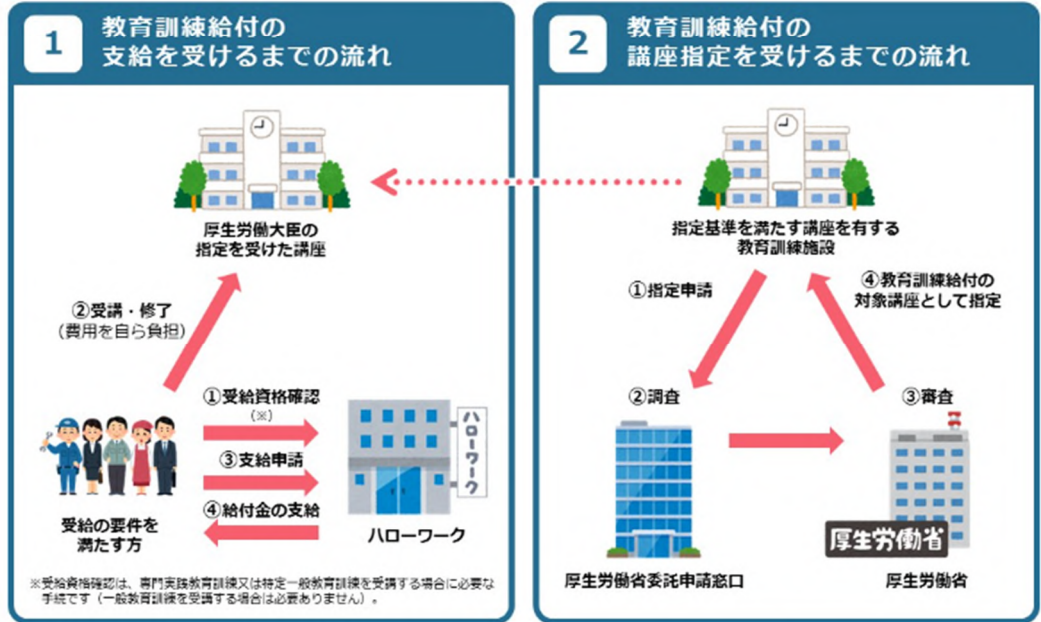
厚生労働省-教育訓練給付制度

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

教育訓練給付制度とは

教育訓練給付制度とは、働く方々の主体的な能力開発やキャリア形成を支援し、雇用の安定と就職の促進を図ることを目的として、厚生労働大臣が指定する教育訓練を修了した際に、受講費用の一部が支給されるものです。

教育訓練給付制度の概要



教育訓練給付制度



教育訓練給付制度
厚生労働大臣指定教育訓練講座

[トップ](#) [講座・スクールを探す](#) [当サイトについて](#) [制度・講座について](#)

講座詳細

一般

名古屋医療情報学プログラム

[受講できる教室一覧](#)

基本情報

スクール名	名古屋大学大学院医学系研究科
実施者	国立大学法人 東海国立大学機構
指定番号	2322018-2510012-2
指定期間	令和7年4月1日～令和10年3月31日
講座名称	名古屋医療情報学プログラム
講座内容	医療情報に関する体系的・網羅的な知識を習得し、医療とICTの両方に精通した人材を育成することを目的としています。
実施方法	eラーニング
訓練期間	7ヶ月
訓練時間	0時間
開講月	-
給付率	20% (上限10万円)
講座URL	-

教育訓練給付制度
厚生労働大臣指定教育訓練講座

[トップ](#) [講座・スクールを探す](#) [当サイトについて](#) [制度・講座について](#)

教育訓練給付制度

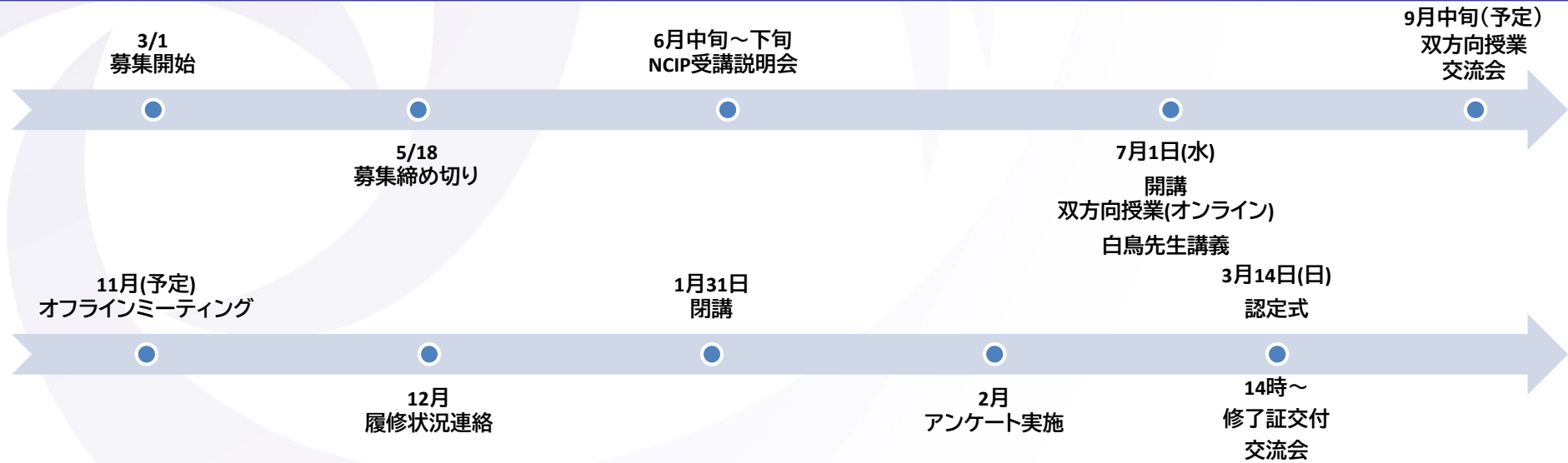
厚生労働大臣指定教育訓練講座

検索システム

[講座・スクールを探す](#)



スケジュール



主なイベント

7月1日(水): 開講、双方向授業(オンライン)

9月中旬: 双方向授業(リアル)、交流会

11月中旬: オフラインミーティング(第46回医療情報学連合大会@札幌にて実施予定)

12月: 履修状況連絡

2027年3月14日(日) :認定式・修了証交付、交流会

Q&A その1

Q1. 受講期間中に受講継続できなくなったら？

受講継続が難しくなった場合

- まずはメディカルITセンターにご相談ください
- 個別の状況に応じて柔軟に対応します

※健康上の理由や業務都合など、やむを得ない事情がある場合は、早めにご連絡ください。

受講継続ができなくなった場合の受講料について

受講期間中にやむを得ない事情で受講継続ができなくなった場合でも、受講料の返金は一切行えません。お申し込み前に受講期間全体を通じて受講可能かどうかを十分ご検討ください。

Q&A その2

Q2. 大学卒業資格の証明書提出は必要ですか?

現状、証明書の提出は求めておりません。自己申告という形でお願いしております。なお、万一不正が明らかになった場合には、修了認定が取り消しとなる可能性がございますのでご注意ください。

Q3. 特に定員制限は設けられておらず、申込者はすべて受講可能という理解で良かったでしょうか?

定員制限は設けておりません。申込者はすべて受講可能です。

Q&A その3

Q4. 企業団体申込みで、複数部門で10名となる場合、それぞれの負担部門より別々に振込むことは可能でしょうか?

各部門ごとに1グループ(10名まで・100万円)としてお申し込みいただくことは可能です。ただし、1グループを複数部門で分割してお支払いいただくことはできません。窓口は1グループにつき一つでお願いしております。

Q5. 企業団体申込で10名ちょうどにならない場合、金額調整はありますか?

10名に満たない場合でも金額調整や割引はございません。10名まで100万円となります。

Q&A その4



Q6. 講義のサンプル動画を閲覧することは可能ですか？

現在、サンプル動画はご用意しておりませんが、貴重なご意見として検討いたします。過去の講義動画の一部を公開できるよう検討いたします。

Q7. 解析のプログラミングコード等も学べますか？

プログラミングコードに特化した講義はございません。

Q8. クレジットカードに対応していますか？ 受講費用の支払い方法を教えてください。

クレジットカードには対応していません。5月の申込締切後、6月上旬頃に請求書・振込用紙を送付しますので、銀行振込にてお支払いください。

Q9. 9月のリアル双方向授業は、オンラインでも参加できますか？

今年度(2025年度)の実績では、リアル授業はオンライン同時配信を実施しませんでした。後日オンデマンド配信を行っています。2026年度については未定です。状況によってはオンライン実施も検討していますが、現時点では確約できない旨をご了承ください。

(補足・白鳥先生)リアル参加できないことが修了認定に影響することはありません。基本はオンデマンド受講が前提であり、遠方にお住まいの方もご安心ください。

Q&A その6




Q10. 11月の医療情報学会への参加は、授業の一環ですか?いつ頃、詳細な情報が分かりますか?

授業の単位・修了要件ではありません。ただし、NCIPの講師の多くが参加する場であり、学会での発表・シンポジウムの内容が理解できるようになることを目標の一つとして位置づけています。講師の先生との交流の場としても昨年度(姫路)は活用されました。2026年度は11月12日~15日、札幌コンベンションセンターでの開催が決定しています。詳細プログラムは順次公表される見込みです。なお、参加費・交通費・宿泊費は個人負担になります。札幌への参加をご検討の方は、早めにフライト・ホテルの手配をお勧めします。

また、この医療情報学連合大会については、白鳥先生からも第1回の説明会でこのようなお話がありました。「最終的には、日本医療情報学会で議論されていることがある程度理解できるようになってほしい。初めて学会に参加すると、そもそも用語が分からなくて、一体何を話しているのか、どういう内容なのかがなかなか分かりにくい。NCIPで勉強していくことによって、あ、こういうことを言っていたんだと分かるようになる—それが一つの達成目標だ」

NCIPで学んだことと学会の内容が結びつく瞬間を、ぜひ現地で感じていただけたら嬉しいです。

- 🏠 大会長挨拶
- 開催概要
- 日程表・プログラム
- チュートリアルのご案内
- 参加登録のお申込み
- 参加者へのご案内
- 一般演題募集案内
- 投稿カテゴリーについて
- 企画演題・チュートリアル募集のご案内
- 利益相反COIの開示について
- 座長・演者へのご案内
- 医療情報技師ポイント申請
- 企業協賛のご案内（企業募集要項）
- 取材申込みのご案内
- ポスター掲示・チラシ設置について
- 宿泊のご案内
- 託児施設のご案内
- 会議室利用のお申込み
- 会場案内
- リンク
- 大会ポスター



第46回
医療情報学連合大会
第27回日本医療情報学会学術大会

健康情報の適切・適時・容易な共有を

2026
11/12 (木) ~ 15 (日)

会場 | **札幌コンベンションセンター**
札幌市白石区東札幌

大会長 | **渡邊 直** 医療情報システム開発センター

プログラム委員長 | **土井 俊祐** 千葉大学
総務委員長 | **谷川 琢海** 北海道科学大学

実行委員長 | **紫藤 秀文** 東京医科大学
事務局長 | **佐瀬 雄治** 北海道情報大学

ご質問がありましたらよろしくお願ひします。
チャットへの投稿でもお受けします。

文部科学省の履修証明制度 (https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/) に基づくプログラム

2026年度 名古屋医療情報学プログラム(NCIP)

募集期間	2026	2026	受講期間	
	3/1 sun	5/18 mon	2026年 7/1 wed	2027年 1/31 sun

— 第3期生 募集 —



社会人医療ICT人材育成コース

—— 業界トップクラスのプロフェッショナルから学ぶ実用的知識 ——

お問い合わせ

名古屋大学医学部附属病院メディカルITセンター NCIPプログラム事務局
Mail : ncip-office@med.nagoya-u.ac.jp
HP : <https://www.nu-mitc.org/lecture/general/>



NCIP



当日のご質問

Q1. 講義内容が毎年アップデートされており、すごいなあと思っております。今後さらなる活動を場を
広げ、盛り上げるためにFACEBOOKなどのSNSで、受講者同士や講師の先生との意見交換の場とし
て利用できるのではないかと考えております。現在、FACEBOOKでNCIP Groupという紛らわしいグ
ループが存在しておりますが、本家のNCIPとしても将来的に開設を検討してはどうでしょうか？

2025年度の受講生から、FacebookでNCIPのグループを立ち上げるというご提案・ご
活動があり、事務局としても賛同しています。

現時点では、事務局が公式に運営するものとしては位置づけておらず、受講生・修了生によ
るボランティアベースの活動として進んでいます。事務局としても可能な範囲で協力してい
く方針です。

SNSの活用については今後の課題として認識しており、引き続き検討してまいります。

なお、Facebook上に「NCIP group」という名称の公開グループが存在しますが、当プロ
グラムとは無関係のグループです。